

# 進捗報告書（資金分配団体）

事業名:	地域課題の解決を目指した中間的就労支援事業
資金分配団体:	新型コロナウイルスの影響により仕事を失った若者支援のためのコンソーシアム
実行団体数:	13団体
実施時期:	2020年8月～2022年1月
事業対象地域:	全国
事業対象者:	①コロナ禍で経済的困難に陥った若者②若者を受け入れる企業、地域、団体

Version 1.0

日付: 2021年8月30日

## I. 事業概要

<b>事業概要</b>
本事業ではコロナ禍における生活困窮者を対象としたつなぎ雇用（中間的就労）を行い、その雇用を通じて地域課題の解決を目指す「キャッシュ・ネットワーク手法」を用い、生活困窮者に対し最低限の収入の確保と新たな職業スキルの獲得を可能にしながら、新たな地縁の獲得と地域経済の自立的な復興に貢献する機会の創出を目指す。具体的には、実行団体を通じて、若年者（44歳まで）の中で何らかの生活困窮状況にある者から参加者を募り、地域課題の解決やICTを活用した職業訓練への参画を条件に、3～6か月のつなぎ雇用を実現し、それに対し実行団体から参加者に対して労働対価（各地域の最低賃金×30時間/週の程度を目安）を提供する。

## II. 進捗報告の概要

<b>総括</b>
全国から二期に分けて実行団体を募集した。就労支援団体、実践型インターンシップ団体、専門人材育成団体など複数の分野から、また地域、受益者のバランスに配慮し13団体を採択。現在、約175名の生活困窮下の若者を雇用 事業に参画したのは生活に困窮した若者で、92%が離職やシフト減少による収入減、参加理由に「地域・社会に貢献したい」と答えた者が51%と事業意図に合致した対象者にリーチできている。

## III. 活動実績

### 資金支援

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①期間内の生活困窮者231名の職業訓練を通じて、②期間後に少なくとも69名の再雇用が創出されており、また、③職業訓練期間を通じて、地域産業の課題を解決しえる25商品、1500万円が創出されている。	現在、175名が訓練に参加しており、おおむね計画通り。訓練期間中に離脱する者もでていますが、同時にまだ事業期間中にもかかわらず、すでに就職した者もでてきている。参加者の92%が離職やシフト減で収入が減った者で、その他は家族の収入源など困窮状態にある者で、事業対象の若者にリーチできている。

実行団体名	進捗状況	概要
特定非営利活動法人北海道エンブリッジ	遅延あり	全体として日程の遅れはあるものの、計画した活動を順次すすめている。懸念点としては、大学生の活動状況が当初想定したよりも不安定で、1人あたりの稼働時間が6～7割程度に留まっている。予算額の範囲で支援対象人数を増やすことを検討している。
一般社団法人サステイナブル・サポート	ほぼ計画通り	ほぼ計画通り進んでいる。1期は途中リタイヤや予定していた出勤日に欠勤する者もいた。2期はスタート時点で2名リタイヤしたが、参加者の補充をしたうえで、ほぼ欠席なく進められている。対象層はほぼ想定通りで、これまで適切な支援を受けられていない支援ニーズの高い若者が集まっている。飲食等のサービス業において単発の仕事についており、コロナ禍で職を得ることが難しくなった人が多く見受けられる。
一般社団法人フミダス	遅延あり	全体として、事業参加者が想定していたよりも集まらず遅れている。今後は募集が動き始めている学生の募集に注力し、事業参加目標を達成する予定。PR・販促スキルの向上のため知識の高い人材が学生のサポーターとして参画させ、チームとなって企業または復興への活動PRを行う。

特定非営利活動法人 Switch	ほぼ計画通り	事業全体としてはほぼ計画通り進んでいる。農業チームとITチームに分け、それぞれ異なる目標に向かって事業を進めることが出来ている。一方で、農業分野とIT分野の連携はまだ実現する事が出来ておらず、今後後半に向けての課題を残している。受益者数は13名とほぼ計画通りだが、実際の稼働日数のばらつきなどもあり、今後再度募集を強化する必要があるため、プレスリリースや関係機関への告知を進め、利用の促進を図ることとする。
特定非営利活動法人G-net	計画通り	全体としては、開始時期のばらつきはあるが、想定活動を順次進めている。 リモートワークを基本としていることで、受け入れをしている地域中小企業においてはリモートワークの受け入れ体制やマネジメントノウハウが蓄積された。また、プログラムに参加した若者（学生）は未経験だった者も含めて、リモートで業務を行えるITリテラシーや能力が一定身についた。懸念点としては、OJTで補完できていた「見て学ぶ、感じる」などの実感値がないことや、信頼関係構築が不十分ではない場合は若者として相談しづらい環境になることが挙げられる。対策として、コーディネーターから、定期的に双方への個別連絡による進捗確認やモニタリング（三者面談）などを実施している。
特定非営利活動法人農スクール	ほぼ計画通り	全体として、日程の遅れはあるが、想定活動を順次進めている。課題点は、農業に「スローライフ」「高齢の方が行うセカンドライフ」をイメージされてくる方の対応で、期間中にそうではないという認識を持ってもらうことにある。実際に地域の農家・農業法人の元に行くだけでは、そうではない所もある、という考えになり中々認識が改まらない。数多くの農業組織に行くことで、楽なところはないという認識を得てもらうよう研修を仕向けていきたい。
認定NPO法人コロンブスアカデミー	ほぼ計画通り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでには出会えなかった幅広い層へのリーチができた。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響の長期化と対象者層の拡大に伴い、実習内容にも臨機応変の対応が求められた。</li> <li>・就労（出口）への困難度や距離も違う対象者を、緊急性・必然性も含めて判断し、事業につなげる事ができた。</li> </ul>
一般社団法人YOU MAKE IT	ほぼ計画通り	4/15に1期プログラムがスタート。9名の見込みだったが直前に2名の就職が決まり結果7名参加。プログラム終了後4名が内定。1名が帰国。残り2名が別事業に支援に切り替えた。2期に向けてプログラムのブラッシュアップ中。
一般社団法人グラミン日本	ほぼ計画通り	5～7月の3カ月プログラムで能力は高いが、子供が障害、自身が難病、夫からDV、ブラック企業で心の健康を損なっているなど課題をもったシングルマザー5人雇用。
株式会社キズキ	計画通り	全体として、想定活動を順次進めている状況です。現状、7名のキャッシュフローワーク利用者さんが動画編集に携わって頂いています。1名は、個人事業主として、Youtubeの動画制作に携わるため、8月4日にプログラムを終了されました。
特定非営利活動法人LAMP	遅延あり	<p>CFWによる雇用は現時点では申請時に目標としていた雇用者数28人、受け入れ農家数30軒からはほど遠い状況である。20代から40代の就労支援団体からの紹介による雇用がほとんどで、コロナ禍の影響で減収、失職した人の雇用は現時点では2名に留まっている。ハローワークに求人を出したところ、50代60代からの問い合わせが多く、本事業の年齢制限「44歳まで」がネックとなっている。</p> <p>CSAについては初めての取り組みではあるが、参考事例をもとにプログラムの内容までほぼ決めることができた。首都圏などの都市部対象に始めるにあたっては、まずは陸前高田の農産物や農家を知ってもらうことから始める必要がある。</p>
特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会	計画通り	全体として、当初想定していたよりも応募者が5倍ほど多く、高いニーズがあることがわかった。特に、東京からの応募者数が多く見られ得る。美容師の有資格者は少なく、無資格の方の応募が多いが、研修等を受講して技術は向上していつている。また、もともと得意だったSNS等を活かして宣伝等も実施し、介護者や患者からの問い合わせも増えている。
特定非営利活動法人学生人材バンク	計画通り	参加者広報や企業開拓、参加後のプログラム運営はおおよそ計画通り進んでいます。別途記載している通り、個別支援が手厚く必要な方への支援体制をどうするか、またこの就業モデルを地域内で育むため、事業者、行政、支援機関等に対して提案を行い、共感者を増やしていく活動を重点的に実施したいと考えています。

#### 非資金的支援（資金分配団体の伴走支援活動）

活動	進捗状況	概要
事業実施アドバイス、リソースマッチング	計画通り	各実行団体に5人の伴走支援者が月1回mtgを行い、進捗状況の確認や事業実施上の課題解決を行っている。また、資金分配団体や伴走支援者のネットワークを活かし、実行団体の成長、事業の成功のために必要なリソースをマッチングしている。地域の団体や、有識者、プロボノなどと計20個のマッチングを行っている。
ガバナンス・コンプライアンス体制構築支援	計画通り	規程類のサンプルを提供し、実行団体の規模に応じたガバナンス・コンプライアンス体制の構築を支援。13団体中8団体が規程類の整備を終えている。NPOと企業など複数の法人格を含むグループにはNPOの独立性担保について聞き取りや、アドバイスをしている。

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>ワーキングプア層の参加が大半であり、災害時にリスクが押し付けられている状況がわかった。この構造に、関連のNPOや行政、企業などのステークホルダーが気づくことで新たな支援のエコシステムができてはじめています。</p> <p>災害時において、就労支援の対象となる者が従来とはどのように異なるのか、それに対して従来のノウハウをどう活かすかの知見が各実行団体でできつつある。次期、キャッシュフローワーク2021助成プログラムにおいて政策提言を行う準備が整ってきている。</p>

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥85,728,000	¥83,568,000	¥169,296,000	¥93,107,726	55%
	管理的経費	¥13,542,000	¥15,772,000	¥29,314,000	¥16,669,798	57%
プログラム・オフィサー関連経費		¥730,000	¥660,000	¥1,390,000	¥570,884	41%
合計		¥100,000,000	¥100,000,000	¥200,000,000	¥110,348,408	55%
補足説明						

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>コロナウイルスの感染拡大により連携事業者の休業で計画変更を余儀なくされた実行団体があった。コロナウイルス感染防止体制が十分に確立していたため就業場所が変更になっても対象者の健康に影響はなかった。</p> <p>グループ内に企業を設立した実行団体があり、資金の流れが不透明になりかねない状況だったが、役員を兼任しないなど独立性を維持するためのガバナンス体制のアドバイスを行い、定款変更や役員変更などの対応が進んでいる。</p>

#### VII. その他

自由記述

## VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読売新聞（21.02.02）</li> <li>「休眠預金」活用 若者を支援 困窮時「仮の仕事」を緊急提供</li> <li>・ PR TIMES（21.01.21）</li> <li><a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000001.000072953.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000001.000072953.html</a></li> <li>・ PR TIMES（21.05.17）</li> <li><a href="https://www.google.co.jp/amp/s/prtimes.jp/main/html/rd/amp/p/00000007.000062687.html">https://www.google.co.jp/amp/s/prtimes.jp/main/html/rd/amp/p/00000007.000062687.html</a></li> <li>・ Yahoo!ニュース（21.06.09）</li> <li><a href="http://youmakeit.jp/2021/06/12/yahoonewssasatto">http://youmakeit.jp/2021/06/12/yahoonewssasatto</a></li> <li>・ NHK鳥取（21.04.19）</li> <li><a href="https://www.nhk.or.jp/tottori/irodoriplus/">https://www.nhk.or.jp/tottori/irodoriplus/</a></li> <li>・ NHK鳥取（21.04.20）</li> <li><a href="https://www.nhk.or.jp/tottori/irodoriplus/details/irp210420.html">https://www.nhk.or.jp/tottori/irodoriplus/details/irp210420.html</a></li> <li>・ KIAORA（21.03.25）</li> <li><a href="https://npocolumbus.or.jp/archives/4255/">https://npocolumbus.or.jp/archives/4255/</a></li> <li>・ 印刷業界ジャーナル（21.03.29）</li> <li><a href="http://www.pjl.co.jp/news/group/2021/03/14156.html">http://www.pjl.co.jp/news/group/2021/03/14156.html</a></li> <li>印刷業界ニュースニュープリネット（21.03.31）</li> <li><a href="http://www.newprinet.co.jp/?p=30748">http://www.newprinet.co.jp/?p=30748</a></li> <li>・ 人吉新聞（21.04.02）</li> <li><a href="https://hitoyoshiproject-online.com/news/115">https://hitoyoshiproject-online.com/news/115</a></li> <li>・ Wis Square（21.02.12）</li> <li><a href="https://wissquare-fukuoka.com/blog/2021/02/12/1032/">https://wissquare-fukuoka.com/blog/2021/02/12/1032/</a></li> <li>・ 福岡ふかばりメディアささっとー（21.06.09）</li> <li><a href="https://sasatto.jp/article/special/coronavirus_fukuoka/entry-1197.html">https://sasatto.jp/article/special/coronavirus_fukuoka/entry-1197.html</a></li> <li>・ DIGITAL SHIFT TIMES（21.04.05）</li> <li><a href="https://digital-shift.jp/flash_news/FN210405_6">https://digital-shift.jp/flash_news/FN210405_6</a></li> </ul>
広報制作物等	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュフォーワーク2020の参加者の91%が離職やシフト減少による収入減少を経験（21.08.10）</li> <li><a href="https://www.reep.jp/blog/cfw2020report1?categoryId=230357">https://www.reep.jp/blog/cfw2020report1?categoryId=230357</a></li> <li>・ キャッシュフォーワークの成果をどう考える？（20.11.08）</li> <li><a href="https://www.reep.jp/blog/0974c649f52">https://www.reep.jp/blog/0974c649f52</a></li> <li>・ キャッシュフォーワークに大切なのは、ストーリー（20.08.12）</li> <li><a href="https://www.reep.jp/blog/87afa80efde">https://www.reep.jp/blog/87afa80efde</a></li> <li>・ 就労支援の限界とキャッシュフォーワーク（20.08.12）</li> <li><a href="https://www.reep.jp/blog/bd9287ee957">https://www.reep.jp/blog/bd9287ee957</a></li> <li>・ 機会としての失業（20.08.06）</li> <li><a href="https://www.reep.jp/blog/066897d75c4?categoryId=230357">https://www.reep.jp/blog/066897d75c4?categoryId=230357</a></li> </ul>
報告書等	無	

## IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	内部通報の窓口をボードメンバーに通知、徹底し、代表理事のコントロールが行き届かないような構造に変えた。 また、入社時の誓約書で内部通報制度を周知するようにした。
4. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
5. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
6. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。	はい	評議委員会のトピックの1つとして開催している